

あきる野市教育委員会 5 月定例会会議録

- 1 開催日 平成29年5月25日(木)
- 2 開催時刻 午後2時00分
- 3 終了時刻 午後2時55分
- 4 場所 あきる野市役所 5階 505会議室
- 5 日程 日程第1 議案第9号 あきる野市図書館協議会委員の解任及び任命について
日程第2 議案第10号 あきる野市スポーツ推進審議会委員の解嘱及び委嘱について
日程第3 報告事項(1)平成29年度大規模地震対応訓練の報告について
日程第4 教育長及び教育委員報告
- 6 出席委員 教 育 長 私 市 豊
教育長職務代理者 田野倉 美 保
委 員 丹 治 充
委 員 宮 田 正 彦
委 員 小 西 フミ子
- 7 欠席委員 なし
- 8 事務局出席者 教 育 部 長 小 林 賢 司
指 導 担 当 部 長 鈴 木 裕 行
生涯学習担当部長 佐 藤 幸 広
教育総務課長 宮 田 健一郎
教育施設担当課長 岩 崎 徹
学校給食課長 宮 崎 勝 央
指 導 担 当 課 長 間 嶋 健
生涯学習推進課長 松 島 満
スポーツ推進課長 吉 岡 賢

図 書 館 長
指 導 主 事
指 導 主 事

山 根 悟
雑 賀 亜 希
若 泉 寿 人

9 事務局欠席者 なし

開会宣言 午後 2 時 0 0 分

教育長（私市 豊君）

それでは、定刻になりますので、始めさせていただきます。

きょうは涼しいですが、先週末から今週初めにかけては本当に真夏のような暑さになりました。そのような中で先週の土曜日、2つの小学校で運動会が開催されました。幸い児童、先生、また来場者の中で熱中症等にかかったといった話は聞いておりません。よかったなと思っております。児童の演目につきましても、組み体操でも大きな事故はなく、すばらしい成果があったという報告を受けております。今週末には7校で運動会が行われます。ぜひ、良い天気にも恵まれまして、練習の成果が発揮できるように願うところであります。

それでは、ただいまからあきる野市教育委員会5月定例会を開催いたします。

本日は教育委員全員が出席しております。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第3項に規定する定足数に達しておりますので、会議は成立しております。

それでは、議事日程に従って会議を進めます。

まず、議事録署名委員の指名については、田野倉委員と宮田委員を指名します。

それでは、議事に入ります。

日程第1 議案第9号あきる野市図書館協議会委員の解任及び任命についてを上程します。

本件は人事案件ですので、非公開で会議を進めたいと思いますが、いかがでしょうか。

《異議なし》

教育長（私市 豊君）

それでは、非公開で会議を進めます。

＝非公開＝

教育長（私市 豊君）

質問等がないようですので、質疑を終了いたします。

日程第1 議案第9号あきる野市図書館協議会委員の解任及び任命については、原案のとおり承認することに異議はございませんでしょうか。

《異議なし》

教育長（私市 豊君）

異議なしと認めます。

日程第1 議案第9号あきる野市図書館協議会委員の解任及び任命については、原案のとおり承認されました。

続きまして、日程第2 議案第10号あきる野市スポーツ推進審議会委員の解嘱及び委嘱についてを上程します。

本件は人事案件ですので、非公開で会議を進めたいと思いますが、いかがでしょうか。

《異議なし》

教育長（私市 豊君）

それでは、非公開で会議を進めます。

＝非公開＝

教育長（私市 豊君）

質問等がないようですので、質疑を終了いたします。

日程第2 議案第10号あきる野市スポーツ推進審議会委員の解嘱及び委嘱については、原案のとおり承認することに異議ございませんでしょうか。

《異議なし》

教育長（私市 豊君）

異議なしと認めます。

日程第2 議案第10号あきる野市スポーツ推進審議会委員の解嘱及び委嘱については、原案のとおり承認されました。

続きまして、日程第3 報告事項1、平成29年度大規模地震対応訓練の報告について、報告者は説明をお願いします。

教育総務課長。

教育総務課長（宮田健一郎君）

それでは、報告事項（1）、平成29年度大規模地震対応訓練の報告をさせていただきます。お配りをさせていただいております平成29年度あきる野市教育委員会大規模地震対応訓練実施報告をごらんください。

初めに、実施日程でございますが、平成29年5月10日水曜、14時から19時28分まで実施をいたしました。

参加者数でございますけれども、児童生徒、教職員、保護者、教育委員会事務局職員など、延べ1万3,410人でございます。内訳でございますけれども、小学校が9,002人、中学校が4,385人でございます。また、教育委員会事務局のほうは23人でございます。こちらの参加規模でございますけれども、5月1日付の人口が、あきる野市8万1,201人であることから、市民のおおむね16.5%が参加した規模の訓練となっております。

次に、被害想定でございます。5月10日水曜の14時に立川断層を震源とする震度6強以上の地震が発生し、あきる野市内でも震度6弱を記録し、交通機関の停止、停電の発生等、ライフラインに被害が出ているという想定で実施をしております。

次に、時系列で訓練の内容を報告させていただきます。13時に各学校へ訓練を実施する旨の事前通告をいたしました。

14時地震が発生。揺れから身を守る耐震行動後、各学校においてはすぐに被災状況確認、避難路の確認、屋外避難などの初期対応訓練を開始しております。

14時5分、教育委員会災害対策本部を設置いたしました。

また、14時8分には、市災害対策本部が設置されたことといたしまして、その後は学校班として活動を開始しております。

14時9分、最初の被害状況報告が入っております。この報告につきましては、14時50分に全校からの報告が終了しております。この報告につきましては、PHSの電話を活用し実施しております。また、この時間を活用しまして各教育委員さんの安否確認のほうもさせていただきました。

14時10分でございます。教育施設担当職員による応急危険度判定実施訓練を実施いたしました。実際に一の谷小学校と東中学校に応急危険度判定調査表の作成を行っております。

15時22分からとめ置き児童生徒数の報告、第1報ということでPHS電話を使って行いました。第1報段階での状況は、報告書のとおりでございます。

16時30分からは給食訓練を実施しております。今回も各小中学校においてアルファ化米の作成と試食を行いました。また、この時間でとめ置き児童生徒数の第2報を、今度は防災行政無線を活用して行いました。第2報段階での状況は、報告書のとおりでございます。

今回の訓練におきましても、中学校におきましては17時を終了としておりましたので、とめ置き生徒につきましては、17時に終了、下校としております。また、小学生につきましては、保護者等、引き渡しカードに記名のある人が引き取りに来るまで学校にとめ置いております。

17時45分からは、小学校ととめ置き児童数の報告、第3報ということでPHS電話を使って行っております。状況につきましては、報告書のとおりでございます。

そして、19時28分になります。最後のとめ置き児童の引き渡し報告を増戸小学校から受けております。増戸小学校では、19時27分に保護者に引き渡しを完了しているところでございます。

本訓練におきましては、特に市民等からの苦情についてはございませんでした。訓練を実施していくに当たりまして、マニュアルどおり、シナリオどおりに進行できた部分、できなかった部分、また細部のところで見直しが必要かな、そういうふうに思う部分が幾つか教育委員会事務局のほうでもありましたし、各学校でもまだ報告は上がっておりませんが、気づいた点があったかと思えます。訓練なので完璧になし遂げることも一つの方法ですけれども、足りないところに気づいて修正を加えていくということも訓練の大事な要因だと思っておりますので、来年に向けてでは遅いかもしれないので、気づいたところは早急に対応して、いつ来るかわからない震災に対応できるように今後も対応していきたいと思っております。

以上でございます。

教育長（私市 豊君）

説明が終わりました。

質疑に入ります。

何かこの際、伺っておきたいことがありましたら、お願いいたします。

小西委員。

委員（小西フミ子君）

全児童引き渡し終了報告、最終報告校が増戸小学校19時27分に引き渡し終了という

ことなのですが、これほど遅くなってしまったのはなぜなのでしょう。

教育長（私市 豊君）

教育総務課長。

教育総務課長（宮田健一郎君）

簡単に申し上げますと保護者の都合、引き取り手の都合ということで、恐らくお仕事の都合等で来る時間がそのような時間になってしまったのかなと考えています。保護者の中にはそうやって遅くなってしまいうようなことも考えまして、また災害時のお互いの協力ということで、この引き渡しカードというのが別にあります、保護者以外でも、そこに名前が書いてある人が保護者のかわりに引き取りに来たときは、学校は引き渡せませすということで対応しているところがございます。残っていた児童については、その引き渡しカードに別の名前がある方も迎えに来られないために、その時間になってしまったということだと思います。ただ、この子、この増戸小学校の人だけがただ単に遅かったわけではなく、全体の中で少しずつ引き取りがある中で、最後の順番として増戸小学校のこの児童が最後の時間でということになっております。

以上でございます。

教育長（私市 豊君）

小西委員。

委員（小西フミ子君）

そういった場合、残された子供さんは学校のどこのお教室で待っているのか。また、職員は何人ついているのかというのも気になるのですけれども。

教育長（私市 豊君）

教育総務課長。

教育総務課長（宮田健一郎君）

学校の対応によってさまざまに変わってくるかと思いますが、訓練ということもありまして、全教職員が残って対応しているところはないかと思いますが。対応できる職員が、恐らく図書室等の少し待つ時間がとれるようなところを利用しながら迎えに来るのを待っていると、そんな状況だと思います。

教育長（私市 豊君）

ほかに。

宮田委員。

委員（宮田正彦君）

これは訓練ですからマニュアルどおりやっていると思うのですが、実際の場面で例えば校舎が崩れたり体育館が被災したりして、例えば雨が降っているとかいうことになった場合に、引き取る時まで児童をどこかへ留め置いておく、集める必要がありますよね。その場合には、例えば五日市小学校だったらある程度公民館みたいなものが、市役所の出張所があったり中学校があったり、そういう施設があるのだけど、そういうところばかりではないと思うので、その辺のマニュアル化というのですか、ある程度先を見据えたような形なんかを方策を練っているのかというのが1つと、それから、PHS電話と防災行政無線、2種類を使われているわけですけど、おそらく、どちらも使用する可能性があるかと

いうことで、訓練で使われているのでしょうか、そのときの機種の違いといいますか、特徴的なものかどうか、どれが都合よく使えるのかとか、その辺を聞きたいのですが、いかがでしょうか。

教育長（私市 豊君）

教育総務課長。

教育総務課長（宮田健一郎君）

では、機器からまずはお説明していきますと、PHSのこの電話につきましては、今会社はなくなってしまったのですが、ウイルコムという会社が、3.11の地震のときに、ほかの携帯電話の通信がパンクしてしまったところ、たまたま利用者も少なかったのか、継続して同機種同士は通信が可能だったということもあわせて、会社のほうから希望する台数の寄附をいただいております。ということで、これは家にある電話と同じような形なのですが、携帯電話と同じように線がついておりません。そういった、要は携帯電話、PHSの電話ということでございます。これが各学校に1台ずつ置いてあります。教育委員会には、統廃合の関係もありましたので、この電話が3台ありますので、3回線を活用して学校とやりとりを行うということでございます。

防災行政無線につきましては、もう言葉のとおり無線機になります。こちらの無線機につきましては、現在市では無線の波が1波しかないものですから、同じ無線機を消防団が使ったりとか防災の担当部署が使ったりとか、さまざまなケースが出てきますので混線をする可能性もあります。ただ、震災対応ということですので、あらゆる手段を常に使えるように練習をしていくことが、実際その場でどんな活動ができるかわかりませんので、多様な対応ができるということのための訓練ということでございます。

最初の質問ですが。

教育長（私市 豊君）

校舎が倒壊した場合の児童・生徒の避難場所についてという質問です。

教育総務課長（宮田健一郎君）

施設が崩壊してしまった場合ですが、この訓練につきましては、東京都の帰宅困難者対策も含めた中で、大規模の震災ではなくても保護者が帰れない場合を想定した訓練という意味も含まれているというのが前提としてあります。ただ、激甚災害のような大規模な地震があったときに、ではどうなるかというところはありますが、この場合は学校の震災対策という枠を超えて、市の震災対策ということになってくるのかなと思っております。ただし、校舎につきましては耐震工事が完了しているかと思っておりますので、いきなり潰れてしまうようなことはないだろうと信じているところではあります。震災なのでどんな大きさのものが来るかもわかりませんので、まずは最初の揺れで建物の被害がなければ、その後余震があった場合は大丈夫かどうかなどの見きわめも必要となりますので、安全に、まずは屋外に避難するという対応になるのかと思っております。耐震については教育施設担当で応急危険度判定訓練を行っていただきましたが、本来はこの応急危険度判定により、施設に入っても問題ないということになれば、建物の中には基本的には入れない、入らないほうが良いということになってきます。しかし、何日間もの長いスパンでの震災対応を訓練では何時間かで展開していくものですから、どうしても詰め込んだ内容となるため、

非常に訓練の中としては盛りだくさんとなり、無理な時間の経過がどうしても出てきてしまいます。いずれにしましても、震災というのはどのような規模でどのような形になるかわかりませんので、ふだんからイメージし、訓練する中で、災害が起きたときに、その経験をヒントに最大の効果が出るような活動ができるようにふだんから備えていくことが大事なのかな、そのように考えて学校安全を進めていきたいと考えております。

以上でございます。

教育長（私市 豊君）

よろしいでしょうか。

委員（宮田正彦君）

ありがとうございます。

教育長（私市 豊君）

小西委員。

委員（小西フミ子君）

例えばけがをしたときの場合の想定とかは、そこまではいけないかもしれませんが、例えば16校あるうちの大きな災害でけがをしたときに病院と提携するとか、この学校はどこかの病院とか、そういう形の提携とかはないのですか。

教育長（私市 豊君）

教育総務課長。

教育総務課長（宮田健一郎君）

現状の中ではどこかの病院と何か協定をしているということはありません。一つ言えるのは、各学校には学校医という人がおります。ただ、学校医は外科ではありませんので、外傷についてどこまで診ることができるかということは何とも申し上げられませんが、医療の知識のある方ということで学校医の活用ということはあるのかなと考えます。いずれにしろ大きな震災のときには、救急車が来ない、多くの市民が医療機関に助けを求めるといった、いろいろな状況が想定されますので、まずもって一番近い学校の保健室で応急処置をしつつ、次の対応を行っていくことになると思います。ふだんから学校へは、いろいろなことを想定して、学校危機管理マニュアルというのもつくっていただくようお願いしてあります。そういったところで地域性なども考えながら対応していくことだと思っております。

教育長（私市 豊君）

ほかによろしいですか。

宮田委員。

委員（宮田正彦君）

質問ではないのですが、こうしたらどうかといった意見の話なのですが、PHSと防災行政無線、防災行政無線はちょっと心配かなと。混線などが考えられるので。しかし、PHSも万全では多分ないだろうという話なのですが、以前聞いた話では、震災があったときにHAM無線を使用している方の活用の話を知っています。ああいったものが災害時に意外に役に立ったというお話があったので、あきる野市内にそういう方いらっしゃるのであれば、何らかの機会に募ってといますか。有事の場合に対応できるよう

な申し合わせみたいなのをしておいたほうがいいんじゃないかなと思うのですけれども、その辺はいかがでしょうか。

教育長（私市 豊君）

教育総務課長。

教育総務課長（宮田健一郎君）

その部分については、防災担当をしていたときの記憶になりますが、あきる野市の中に、アマチュア無線のグループがあったかなと記憶しています。そういったところと、こちらは小学校というよりは、市の防災担当が直接関係を持ちながら、震災発生したときには、そういう方々の協力の下で無線機を活用しながら、それぞれ避難所についていただくとかなどの対応が行えるのではないのかなと、そのように思います。

教育長（私市 豊君）

よろしいですか。

委員（宮田正彦君）

ぜひよろしく願いいたします。

教育長（私市 豊君）

ほかによろしいでしょうか。

《なし》

教育長（私市 豊君）

それでは、本件は報告として承りました。

続きまして、教育長及び教育委員の報告に移ります。

私のほうから報告をさせていただきます。先月24日から今日までの報告でございます。

私からは、4月27日に市民解説員の委嘱式を行いました。今年度は新たに4人の方を委嘱いたしました。この市民解説員につきましては、平成10年にスタートいたしまして、ちょうど20年目に当たります。今回4人目の方がちょうど100人目になりました。

100人目の解説員ということで、その解説員の方もちょっとびっくりしておりまして、区切りのいい数字ということで喜んでおりました。現在活動している方は、今回の4人を含めて63人でございます。高齢の方も多いため病気になったり、中には亡くなってしまったりということもございます。この市民解説員の方は、寿大学で講師を勤めたり、市内の各種ボランティア活動などで活躍をしている方たちがほとんどでございます。また、解説員ということで、日々自分の能力を高めるということで勉強を欠かせないという努力もしております。非常に市としてもありがたい人材と思っております。

続きまして、5月9日と11日、2日間で寿大学の開講式がありました。五日市の開講式が128名の受講生、11日の秋川校の開講式が714人、合計842人の方が今年度の受講生になっております。ことしの11月までに17講座を受講して閉講式を迎えるという運びになっております。本当に毎年毎年多くの方が受講されているということで、あきる野市民の学習意欲の高さというのですか、学ぶ気持ちを感じる熱気あふれる開講式でございました。

もう一つ、18日に秋留台高校の運営協議会に出席をいたしました。秋留台高校につきましては、エンカレッジスクールという、そういう位置づけの学校で、エンカレッジスク

ールというのは学び直しという意味でございます。要するに中学校時代になかなか勉強の機会に恵まれなかったという子供たちを積極的に受け入れているということでございまして、このエンカレッジスクールに指定されてから、ことしで15年目ということで、そういったお子様をお持ちの保護者にとっては非常にありがたいという、そういう声が大きいと聞いています。そのために受験倍率も非常に高く、今年度は3.39倍だそうです。校長が言うには日比谷高校よりも高いと、そのように伺いました。ことしの入学者251人、うちあきる野市からの入学者が35人でした。6校の中学校全てから入学をしておりまして、少ないところで4人、多いところでは10人の中学生が、この秋留台高校に入学をしております。エンカレッジスクールということで、いわゆる特別支援が必要なお子さん、通級に通う予定の方が50人ぐらいいるかなという話でございました。秋留台高校は特別支援学級の都立高校のモデル校になっておりますので、非常に校長以下、教職員の先生方もそちらについては力を入れるということを伺っております。あきる野市も特別支援には力を入れておりますので、高校との連携が図ればより特別支援の教育が進むのではないかと期待をしているところでございます。

私からは以上でございます。

ほかに教育委員の方からご報告がありましたらお願いをいたします。

田野倉職務代理者。

教育長職務代理者（田野倉美保君）

私のほうからは二つのことを話したいと思います。5月7日に市内6中学校合同バンドによるマーチング演奏会というのが、秋川体育館の体育室で行われました。これは昨年まではスポーツ・レクリエーション大会のときに昼休みの時間を利用して、秋留台公園のトラックでやっていたものなのですが、今年度はスポーツ・レクリエーション大会が中止ということで、新たな日を設けてやっていただいたものです。マーチングなので演奏しながらの移動があるのですが、その隊列移動が戸外でやるときよりも動きが綿密で、いろいろな隊列を様々に組み直すもので、大変、見応えのあるような内容になっていました。練習期間も余りなく、すごく大変だったと思いますが、途中でマーチングの専門の方の解説もあったりして、非常に中身の濃い楽しい時間となりました。中学生が一生懸命頑張っている姿を見ることができて、非常によかったです。

もう一つは、運動会です。先週土曜日に東秋留小学校、増戸小学校で拝見させていただきました。この時期ということで練習期間が正月1カ月ぐらいしかない中、子供たちも一生懸命自分の競技であったりダンス表現活動であったり、あるいは係活動ですとか、すごく一生懸命取り組んでいました。先生方も子供たちと一緒にいて、やはりこういった行事などで先生と児童との距離が縮まっているのだなというのを感じました。東秋留小学校の組み体操が終了したときに指導していた先生と子供たちが全員ハイタッチをしながら退場してました。そのときの子供たちの顔が達成感に満ちあふれて、先生も感動してしまって、男の先生だったのですけども、涙を流しながら、本当に心と心が触れ合って、ああ、こうやって成長していくのだなという様子がすごく感じられて、とてもよかったです。今週末もまた7校あるということなので、楽しみにしています。

以上です。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございました。

ほかにかがでしょうか。

丹治委員。

委員（丹治 充君）

私は、運動会のほうは、予定が合わずよく見られませんでした。しかし、耳に入ったことは、熱中症の関係ですね。恐らく市内の小中学校は、小学校ですか、全部テント張られるようになるのかなということで、地域の協力というか、そういうものも今回感じました。

それから、学校の公開でも見せてもらいましたけれども、これは学校あるいは地域差がやっぱりあるのかなということで、非常にいい学校と、逆にちょっとまばらでもったいななどというのを思って拝見しました。

以上です。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございました。

宮田委員。

委員（宮田正彦君）

大規模地震対応訓練のところで少しお話しさせていただいたのですが、発災から、小学校ではすぐに、中学校ではそれよりも少し遅れてですが、整列して校長先生のお話もしっかりと聞いていました。小さいころからそういう対応を真剣にやるという態度を培っていけば、有事の際に、やはり役立つと思いますので、そこは学校の指導方針でいろいろとあるかとは思いますが、実際にそうしたときに使えるように真剣にやっていただければなと思います。本当に子供のおしゃべりの一つも聞かれることなく、最後は整列して学校の中にまた戻っていきまされたけども、実際に地震が起こらないことを願ってはいまされけども、日ごろからの訓練がやはり大切だと思います。よろしくお願ひしたいと思います。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございました。

小西委員さん。

委員（小西フミ子君）

私は、増戸小学校の運動会がとてもよかったと思います。少しの時間しか見ることできなかったのですが、すごい砂ぼこりを青少健の方とか、それから隣の中学生たちが、種目の合間にじょうろで水を撒いている。その地域性というか、みんなが協力しているというような部分を、実際に本当に大勢で参加されているのを見てとてもいいなと感じました。

以上です。

教育長（私市 豊君）

ありがとうございました。

ほかによろしいですか。

《なし》

教育長（私市 豊君）

ほかにはないので、報告は終了いたします。

最後に、事務局から今後の日程等についてご案内をお願いいたします。

教育総務課長。

教育総務課長（宮田健一郎君）

それでは、今後の日程等につきましてご案内をさせていただきます。

明日になります。5月26日金曜日でございますが、関東甲信越静岡の市町村教育委員会連合会総会研修会が、午後0時45分から神奈川県大和市のやまと芸術文化ホールで開催をされます。私市教育長、田野倉教育長職務代理者、小西委員が出席予定となっております。市役所を午前10時に出発いたしますので、よろしくをお願いいたします。

5月31日水曜日ですが、今年度最初の教育委員学校訪問がございます。訪問先は、増戸小学校となります。午前9時集合、出発とさせていただきます。よろしくをお願いいたします。

また、同31日水曜日ですが、東京都市町村教育委員会連合会総会が、東京自治会館で午後3時30分から開催されます。午後2時20分に市役所を出発しますので、よろしくをお願いいたします。

6月に入りまして6月2日金曜日は、前田小学校への学校訪問がございます。午前9時集合、出発とさせていただきます。よろしくをお願いいたします。

また、同2日金曜日ですが、午後1時30分から臨時教育委員会の開催となっております。よろしくをお願いいたします。

翌6月3日土曜日は、五日市中学校の運動会が行われます。

6月15日木曜日ですが、五日市小学校への学校訪問がございます。午前9時集合、出発とさせていただきますので、よろしくをお願いいたします。

最後に、次回6月の定例会でございますが、6月23日木曜、午後2時から505会議室で開催いたします。

以上でございます。

教育長（私市 豊君）

金曜日だよ。6月23日。

教育総務課長（宮田健一郎君）

失礼いたしました。金曜日ですね。

以上でございます。

教育長（私市 豊君）

何かただいまの連絡でご質問等ありますか。よろしいですか。

《なし》

教育長（私市 豊君）

それでは、以上をもちましてあきる野市教育委員会5月定例会を終了いたします。

閉会宣言 午後2時55分